

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており、十分なスペースを確保し、机の配置や児童と職員の適切な距離に配慮しております。	本棚やツールの収納場所を整理して広く活用できるようにしております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		法令の基準を満たした人員に、加配の職員も配置しております。	法令よりも多くの人員配置を組んでおり、今後も児童の受け入れに合わせて随時調整してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		室内には段差は無く、バリアフリーで児童が転びにくいような工夫、また児童の目から見てわかりやすい構造となっております。	現時点では、事業所には車いすを使用する児童はいませんが、今後、受け入れの際には環境や対応について協議し、検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃および室内の消毒を徹底し、常に清潔な空間を提供できるよう努めております。また、すべてフラットな構造とし、活動しやすい環境となるよう配慮しております。	今後も継続して、清潔な空間を保つために努力してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	内室をパーテーションで区切り、個室の代替となる落ち着いた空間を確保するための配慮をおこなっております。	今後も療育スペースに関しては、療育により集中できる環境を整えるため、工夫を重ねてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎月リフレクション会議をおこない、普段の業務内容や療育活動を見直し、反省、今後の目標等を設定・周知をおこなっております。	今後も情報や目標の進捗状況の事業所内周知を徹底してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	アンケート実施後、保護者様からいただいたご意見は速やかに全職員で共有し、業務改善に努めております。	今後も、保護者様からいただいたご意見を元に、よりよい支援ができるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に職員にアンケートや意見交換会を実施し、業務の見直しや反省点を明確にして業務改善につなげております。	今後も定期的なアンケートや意見交換会を実施してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		オンライン研修や事業所内研修などを通じて積極的に研修の機会を確保しております。	今後も、定期的に研修の機会を設け、職員の資質や能力の向上に努めてまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		各事業所のホームページに支援プログラムを公表しております。	各事業所のホームページに支援プログラムを公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		情報収集を初回面談時と、契約時に段階的におこない、保護者様のご意向を踏まえて、課題を明確にしたうえで計画を立案しております。	今後も定期的なアセスメントをおこない、児童の特性に配慮し保護者様のご意向を含めた支援計画を心がけてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	日々の情報共有や計画前の支援会議を通して、目標に対するエピソードや達成度を確認し、モニタリングの要素も踏まえながら、児童の今後の計画について検討をおこなっております。	今後も職員それぞれの専門性を活かして、共通理解を持って計画を立ててまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援会議において計画案の内容を把握し、計画に沿った支援を提供できるよう努めております。	今後も、支援計画に基づいた支援が実施されるよう、支援会議をおこない、よりよい支援に向けて努力してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	法人で統一されたアセスメントシートを使用しております。	今後も適切にアセスメントをおこなうことにより、状況の把握に努めてまいります。
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	保護者様のご意向と児童発達支援ガイドラインを考慮し、児童に適した支援内容を選択し、具体的な支援計画を作成しております。	児童の状況に応じて、児童発達支援ガイドラインに示された支援内容を選択しながら、保護者様のご意向も踏まえた計画を作成してまいります。また、担当者会議などで情報を共有し、計画の見直しを図ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員間での協議を通して、活動内容を立案しております。	固定化しないよう、今後も職員間で会議をおこない、チームでいろいろな活動プログラムを立案できるよう努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	定着を狙って、プログラムを散らして固定化する場合もありますが、長期休みなどは出来るだけ多くのプログラムを計画しております。	今後も新たな活動を年間、月間単位で取り入れていけるよう、職員間での会議をおこない検討してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		各児童の特性に合わせて個別の目標を設定し、個別活動や集団活動などを柔軟に組み合わせた支援計画を作成しております。	今後も個別活動と集団活動を組み合わせ、個々に合った支援計画を作成してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	業務内容に関する共有や、児童の支援内容についての打ち合わせを定期的実施しております。	今後も、支援開始前の情報共有と確認を継続しておこなってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気になった点等を共有しているか。	3	4	家族支援や支援内容について適切に周知をおこなっております。また、口頭で伝えきれない場合は職員日誌を活用し、情報共有に努めております。	よりよい支援を実現するため、今後も、引継ぎを確実にこなってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々、児童ごとに個別経過記録を作成し、これを支援の検証や改善に役立てております。	今後も細やかな記録の記載を徹底し、よりよい支援がおこなえるよう努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングをおこない、児童の状況や保護者様のご意向に応じた計画を策定できるよう見直しを実施しております。	必要に応じて、期間を問わずモニタリングを実施し、計画の見直しの必要性を検討してまいります。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が基本的に参加しております。普段から支援に関わっている職員からも情報を集めて参画しております。	保護者様・相談支援事業所、並びに併用されている事業所等の関係機関との連携は重要ですので、今後も児童発達支援管理責任者が参加することにより情報の共有ができるよう努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関と情報共有をおこないながら、連携した支援をおこなっております。	今後も関係機関との連携を大切にして支援に取り組んでまいります。
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	必要に応じて、幼稚園や保育園へ電話連絡や訪問をおこない、情報共有に努め、よりよい支援が実現できるよう配慮しております。	今後も併行利用について併行利用や移行に向けた支援において共通認識を持つため、関係各所と密に連携を取ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	相談支援員を中心とした引継ぎをおこない、支援内容について情報共有、相互理解を図っております。	今後も関係機関と支援内容の情報共有をおこない、児童が進学先で有意義な生活が送れるよう、相互理解を図ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	2	5	各関係機関との連携に努め、担当者会議に参加し、助言を受けております。	今後も積極的に会議に参加し、関係機関からの助言をいただきながら、よりよい支援に向けて努力してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中でのこどもと活動する機会があるか。	0	7	感染症流行を踏まえ、事業所間での交流機会は実施していません。	通所を公にしたい保護者様もいらっしゃるため、感染症流行等の社会状況を考慮して保護者様のご意見を伺いながら、検討してまいります。
	33	日頃からこどもの発達を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		事業所での様子や学校・ご家庭の様子の情報共有をおこない、保護者様との共通理解に努め、支援の方向性を検討してまいります。	今後も、保護者様と事業所間で細やかな情報も伝え合いながら、共通の理解を図ってまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	今後もご家庭で実施可能な療育方法や情報提供を通じて、保護者様への支援の充実に努めてまいります。	今後もご家庭でおこなえる療育や、公式動画を通して療育の様子をご紹介することで、保護者様への支援になるよう努めていきたいと思っております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に運営規程および利用者負担等について丁寧に説明をおこなっております。また、ご質問やご不明点がないか確認しながら進めております。	今後も契約時に運営規定、利用者負担等について丁寧に説明に努めています。また、質問やご不明点がないか確認しながら進めてまいります。
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		ご希望に応じて事業所での相談の場を設け、保護者様のご意向をお聞きしております。	今後もアセスメントをおこなう際、保護者様の願いと児童の強みや興味・関心とのニーズを正確に把握して児童発達支援計画を作成してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		支援会議やモニタリングの際には計画内容を丁寧に説明し、保護者様の同意を得ております。	内容のご確認をいただいた個別支援計画・専門的支援実施計画に則って支援をおこなっております。新たに課題がみつかれば、その都度さまざまな取り組みをおこない解決方法を探っております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳や送迎の際にご相談をお受けしたり、ご希望に応じて事業所での相談の場を設け、お悩みを丁寧に聞き、助言等に努めております。	今後も保護者様からのご相談があった場合には、情報収集や職員間の共有をおこない、早急に対応できるよう努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	今年度も感染症流行等の社会状況を鑑み、実施はできておりません。	社会状況を考慮しながら保護者様のご意向をまとめ、開催の計画を立案してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	苦情受付窓口および苦情解決の担当者を事業所内に掲示しております。また、苦情があった場合には職員間で共有し、迅速な対応ができるよう努めております。	今後も快適にご利用いただけるよう、日常からの取り組みを徹底し、同時に申し入れを受けられる際には、素早く問題解決に向けて対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の「COMPASSだより」の発行や公式Webサイトの更新を通じて、事業所の活動の様子を発信しております。	今後も継続して、毎月の「COMPASSだより」、公式Webサイト、SNS、YouTubeなどを通じて療育の様子を発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いは十分留意しているか。	7		個人情報については鍵付きの書庫にて保管しており、個人情報の紛失や漏洩がないよう注意しております。	今後も個人情報については厳重管理をおこなってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童の特性に応じた支援方法で情報伝達をおこなっております。また、保護者様への説明の際には専門用語を避け、分かりやすくお伝えするよう努めております。	今後もスムーズに分かりやすくお伝えできるように心がけてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	保護者様や児童のご要望がほぼ聞かれず、現在計画はしておりません。	児童及び保護者様のご意向で地域の方との交流については配慮する必要があるため、実施には検討を重ねてまいります。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは事業所内に掲示し、職員間で共有できるように定期的に研修を実施し、内容の確認に努めております。
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		地震、火災、風水害、不審者等を想定した学習・対応・避難訓練を年間計画を組んで実施しております。	避難訓練当日利用の方は避難する理由や方法を説明し、実施しております。当日利用の無かった方には紙芝居等で避難の方法を説明しております。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学者や利用契約時に聞き取りやアセスメントにて保護者様に確認をおこなっております。また利用中に薬物の使用の必要がある場合は、与薬依頼書の提出をお願いしております。	児童の健康に関することから、今後も確実に聞き取りをおこない、職員への周知をおこなってまいります。
48		食物アレルギーのあるこどもについても、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーについては初回アセスメント時に保護者様から聞き取りをおこない、全職員への周知および情報共有を徹底しております。また、医師の指示書がある場合は、その内容に基づいた対応に努めております。	情報は徹底的な更新に努め、今後も職員への周知を徹底し、食物の提供がおこなわれる際には細心の注意を払ってまいります。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	7		各種マニュアルは事業所内に掲示し、職員間で共有できるように定期的に研修を実施し、内容の確認に努めております。	緊急時に確実に対応できるよう、今後も保護者様への提示、お知らせや、職員への周知を継続的におこない、体制を確実に整えてまいります。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携等が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、連携等へ周知しているか。	7		年に4回の避難訓練の実施状況を「COMPASSだより」を通じてご報告し、非常時時の避難場所および連絡先について書面にてお知らせしております。	今後も保護者様への周知と共有に努めてまいります。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット報告書にはしっかりと記録を残し、その概況を職員間で周知することにより、事故を未然に防ぐことができるよう努めております。	今後もヒヤリハット事例を記録し事故の再発防止と未然防止に努めてまいります。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		職員会議等で虐待防止の必要性について共通認識を図っております。また、法人内で虐待防止委員会を設置し、必要な研修内容や会議内容の周知徹底をおこなっております。	今後も外部研修にも積極的に参加をし、虐待防止について職員の認識を深めてまいります。
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		現在、身体拘束が必要な児童の利用はありませんが、身体拘束は原則としておこないません。やむを得ず必要と判断される場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の同意を得たうえで児童発達支援計画に記載し、適切に対応してまいります。	今後も身体拘束の禁止については、職員間で認識を統一してまいります。保護者様にはその説明を利用契約時に確実におこなってまいります。また身体拘束の定義や、万が一拘束をおこなう場合の要件を職員に周知してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。